



「ここに安心 ひとに安全 まちに快適」な地域実現に向けて 市民の生命・財産の保護・福祉の増進に寄与する高機能消防指令システム



①現場到着時間の短縮

- ・統合型位置情報通知装置
- ・出動車両運用管理装置
- ・音声合成装置
- ・順次指令装置

②大規模災害への対応

- ・大規模災害時の柔軟な指令台運用
- ・気象情報収集装置
- ・広域作戦室映像設備

高機能 消防指令システム の特長

③市民サービスの向上

- ・NET119緊急通報システム
- ・FAX119受信装置
- ・災害状況等自動案内/WEB市民向け案内

④現場活動の支援強化

- ・車両運用端末装置
- ・指令情報共有システム
- ・現場映像装置
- ・指揮者情報端末/救急情報端末

正確な情報確認と迅速な指令伝達を図り、 通報から現場到着までの時間短縮、的確な現場活動を実現します



現場到着時間の短縮

1分1秒でも早く災害現場に駆け付けます。

指令装置

119番通報の受付をはじめ、指令管制業務に関わる全ての有線・無線を取り扱うとともに、自動出動指定装置、地図等検索装置を収容し、連携して運用を行います。指令装置は4画面フルタッチパネルディスプレイで構成され、電子ペンや手書き文字認識を採用し、キーボード入力やマウス操作を不要としたことで、操作全般の負荷低減を図り、より迅速・確実に指令管制業務を行います。



● 手書き文字認識機能

入力する文字情報は直接ペンによる手書きで入力することができます。通報者が読めない難読地名や漢字変換の手間を省くことで受付操作の迅速化を図ります。



● 複数目標物検索機能

通報者が自分の居場所がわからない場合、そこから見える複数の目標物をもとにエリアの絞り込みを行うことができます。通報者から得られる断片的な情報からでも災害地点をすばやく特定できます。



市民サービスの向上

誰もが安心して暮らせるまちを目指します。

統合型位置情報通知装置

通報者が動揺していたり、自分の居場所がわからないなど、正確な位置情報が得られない場合でも、本システムにより通報地点を素早く特定することができます。災害地点の確認がよりスムーズに行え、より迅速に現場への出動が行えます。



出動車両運用管理装置

災害出動中や出向中の消防車・救急車の位置情報を、人工衛星の電波を使って測位し(GPS機能)活動状況と共に指令センターへ伝送します。災害現場に最も近く出動できる車両を選別、最短時間での現場到着をサポートします。



NET119緊急通報システム

聴覚や会話に不安のある方を対象に、携帯電話やインターネット端末機器を活用して通報を受信する装置です。(ご利用を希望される方は、事前に登録が必要です。詳しくは、災害管制課：FAX077-552-5050へお問い合わせください。)従前のFAX119通報も継続して利用可能です。



現場活動支援の強化

スムーズな現場対応をサポートする情報を収集します。

車両運用端末装置

緊急車両に搭載され、自車位置を管理装置に送信するとともに、災害地点の付近地図や指令内容を表示します。また他の車両位置情報や水利・道路障害、病院受入といった各種支援情報、対象物の警防図面など災害活動に必要な情報も表示することができます。



現場映像装置

ICT(情報通信技術)により、スマートフォンや車載カメラで撮影した災害現場のリアルタイムな映像・音声をGIS(地理情報システム)と連携して、指令センターに送信します。災害状況を共有しながら、迅速な災害対策・指揮などに役立てます。



指揮者情報端末・救急情報端末

指令センター、署所、現場間で、GIS(地理情報システム)と連携された現場状況や連絡事項といった現場活動の最新情報を、ICT(情報通信技術)によりリアルタイムに共有することができます。



大規模災害への対応

大規模災害時にも柔軟・迅速に対応する 万全の体制で臨みます。

指令台(輻輳モード)

大規模災害時など通報が集中する状況下においては、モード切替により指令台を増強。最大、指揮台とあわせ10席による運用で、的確かつ迅速に災害事案を処理できる受付体制を確立しています。



【通常運用時】
通常4画面(自動、地図、支援、メモ)のディスプレイを活用して、迅速かつ正確な指令管制業務を行います。



【大規模災害時】
台風や大規模災害により通報が多発した場合、指令台を切り替えて運用を行います。

広域作戦室

災害規模に応じて迅速、的確な作戦指示を行う警備本部を立ち上げます。現場映像などを120インチスクリーンを含め、計6台の映像機器に表示できます。